

CURIOUS MINDS

発行: せんだい若者サポートステーション
〒982-0001 仙台市太白区八本松1丁目12-12
TEL: 022-246-9685 FAX: 022-246-9691
Mail: info@saposute.ne.jp
URL: http://www.saposute.ne.jp

平成22年1月 第28号

*せんだい若者サポートステーションは、厚生労働省の「若者自立支援ネットワーク整備事業」です。「社会へ一歩踏み出す」「働く」など、“これから”と一緒に考えていきましょう。

～“curious minds”の願い～

“curious”とは、「好奇心のある」の意味。せんだいサポステは、好奇心(=楽しみを見出す力)を大切に考えています。せんだいサポステに集まる若者も、一人ひとりが素敵な好奇心の持ち主。その好奇心を輝かせ、自分の未来に向かって歩み出していこう、という思いで、この広報紙を“curious minds”(キュリアス・マインズ)と名付けました。

活動のご報告、そして今後のイベントのご案内等を、コンパクトにまとめてお伝えします。

せんだいサポステinformation

1月の職業講話「先輩に聞こう！」

デザイナー 真山正太氏をお迎えして

様々な仕事に取り組んでいる方をお迎えし、人生観や職業観についてお話しいただく「先輩に聞こう！」。1月は、せんだいサポステのパンフレットも手掛けてくださったグラフィックデザイナーの真山氏においでいただきました。

真山氏は終始にこやかな表情を絶やさず、デザイナーというお仕事の話を中心に、生き方や考え方など幅広くお話しされました。

「仕事は辛く厳しくて当たり前、だけどもがんばれと言う人が多いが、私は楽しくて大好きな仕事を失いたくないからこそ徹夜でもなんでもがんばれる」と、軽やかに語る真山氏。



講話だけでなく、参加者全員で絵を描き、自分の心をのぞいてみたり、「働く」をテーマにした手製の紙芝居の上演など、盛り沢山のあつという間の時間でした。

「とてもわくわくした、もっとお話を聞きたかった」「おしゃれな職業だけれども、だからこそその厳しさもあることが分かった」などの声が寄せられました。

「社会人のたしなみ」(基礎編+実践編)



「社会人のたしなみ」は、毎月多くの方から好評を得ているビジネスマナー講座です。この特徴は、一つのテーマを「基礎編」+「実践編」でじっくり吸収できることです。

人気のテーマは挨拶や電話対応、「ホウレンソウ(報告・連絡・相談)」など。時には「宴席のマナー」も行います。案ずるより産むが易し。気軽に是非参加してくださいね。

出前相談会のお知らせ

～2月・3月の予定～

終日(10:00～16:00)、個別相談会を行います。電話でご予約の上、おいで下さい。
(仕事の紹介・斡旋ではありません)

<対象となる方>

- ・「仕事をしなきゃとは思っているけれども、何から始めていいかわからない」というご本人
- ・「本人の力になりたいが、どう接すればよいか…」とお考えのご家族の方など

- ◎ 2月 9日 (火) 大河原合同庁舎
(柴田郡大河原町字南129番1号 TEL 0224-53-3111)
- ◎ 2月23日 (火) 仙台保健福祉事務所岩沼支所(塩釜保健所岩沼支所)
(岩沼市中央3丁目1-18 TEL 0223-22-2188)
- ◎ 3月 9日 (火) 仙台保健福祉事務所塩釜総合支所(塩釜保健所)
(塩竈市北浜4丁目8-15 TEL 022-363-5502)
- ◎ 3月16日 (火) 仙台保健福祉事務所黒川支所(塩釜保健所黒川支所)
(黒川郡富谷町ひより台2丁目42-2 TEL 022-358-1111)

是非足をお運びください

道は必ずあると思います。この出前相談会がそのきっかけになれば、幸いです。お待ちしております。

※詳細は、せんだいサポステ(022-246-9685)までご連絡を頂るか、ホームページ(<http://www.saposute.ne.jp>)をご覧ください

バックナンバーは
ホームページで

“curious minds”のバックナンバーが、せんだい若者サポートステーションのホームページからダウンロードできます。もちろん、最新号もその都度アップしていきます。是非とも、ホームページ版もご活用ください。

せんだい若者サポートステーションURLは、<http://www.saposute.ne.jp>

かきこみ処 さぼす亭

いらっしゃいませ。“かきこみ処 さぼす亭”でございます。
こちらは、せんだいサポステメンバーが担当するコーナーです。
2010年、明けました。
「きょうちゃん」がお送りいたします。

<今月のおしながき> ~ W pretty blossoms ~

◇こんには。温室効果ガスによる地球温暖化が騒がれ、昔に比べたら雪が降らなくなりました——とは言うものの、冬将軍に本気を出されたらやっぱり寒いですね。先日車を洗ったら、庭に流れた水が瞬間に凍ってしまいました。寒いのは身体にも堪えるし、嫌だなあとは思いますが、寒いのが“冬”ですし、この寒さがあるからこそ春に美しい花を咲かせる植物もあるのです。そして、わたしたちはその花を見て、心が豊かになるんですね。今回は、わたしの2010年の目標について書きます。



◇昨年、知り合いから勧められて、ギターパンダさんのライブに行ってきました。ギターパンダとは、パンダのきぐるみに身を包んだナイス・ミドル、山川のりをさんが、ギターとボーカルを務めるバンドです（基本はひとりパンダ、たまにベースとドラムを入れて3人パンダ）。「パンダのきぐるみを着てうたうなんて、ふざけてるの？」と思う方もいらっしゃるかもしれませんが、観る人を楽しませるためにやっているのです。◇パンダのきぐるみと陽気なMC、のりをさんと観客のコールアンドレスポンスで、ライブハウスはとても楽しい熱さに包まれていました。最後の最後、アンコールのラストに、『人生の花』という曲が演奏されました。観客たちは静まり、のりをさんの歌声をしっかりと聴いていました。

◇『人生の花』という歌は、“好きなことは、誰にでも何かはあるはず。好きなことはどんなことでも、あなたの人生の花になる。だから、心の底から楽しんで、情熱を傾けてそれに取り組んでみよう。”という内容です。のりをさんは、何よりもギターを弾くのが好きだったから、ギターに情熱を注いできたから、今、ギターパンダになったんですね。

◇わたしは、今年は、自分が好きなことを、得意なことしてみたいです。例えば、ちょっとばかり編み物ができるので、それをおおっぴらに言えるだけの作品が編めるようになりたいです。小さなことですけど、これが達成できたらきっと大きな喜びになるだろうと思います。



◇わたしは、今まで、実にパツとしない生き方をしてきました。特に、教科書で勉強をしていた時代には、楽しい思い出はありません。良い成績を取ることでしか自分を評価してもらえず、良い成績を取ろうと勉強してもテストの点数は上がらず……。意見を言えば肅清され、出来の悪い人間と罵られ、わけのわからない粹にはめられて、自分の意思や感情までもがなくなってしまうました。やがて、食べ物を食べて美味しいと感じることや、楽しいときにどんな表情をしたら良いか、そもそも楽しいって何なのか、それすらも忘れてしまいました。

◇こんな生き方は、もうウンザリです。自分の人生の主人公には、自分がなりたい！

◇というわけで、昨日までのことは昨日までのこと。今日から新しい種を蒔いて、美しい花が咲くように育てて行こうと思います。昨日までのことは経験として、良い肥料になるでしょう。でも、経験はあくまでも経験として受け止めたかと考えています。「あのときはああだったから、今回もああだろう。じゃあ、前と同じようにすればいいか〜」と言っては、次へ進むための可能性の幅を、自分で少し狭くしてしまっているように思えるからです。頭の中の思考パターンを変えて行くのも、今後のわたしの課題です。そして、仮にもわたしの名前は果物の漢字なので、いつか美味しい実が実ればなあ……。なんて夢を持っています。

◇好きなことを続けていると、世間のしがらみに潰された寂しい大人たちから口を出されることも多いですが、自分の生きる道を生きるのは、自分であって大人たちではないので、毒されずに上手くやり過ごしたいです。

といったところで、今回のかきこみ処さぼす亭はこれにてお開きです。読んでいただきありがとうございました。

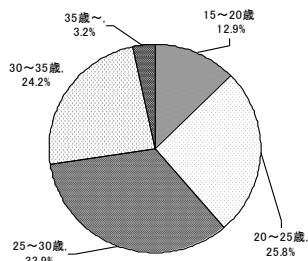
せんだいサポステDATA (平成22年1月17日現在)

登録者数 302名 (男女比は65:35)

相談件数 2,988名 (1日平均 4.7名)

イベント参加者数 3,191名 (1回平均 5.0名)

登録者の年齢を見ると、H21年度は、10代～20代の占める割合が月毎に高くなってきています。最も多いのは、20代後半です。(右グラフ参照)。居住地に関しては、仙台市内が7割、それ以外が3割です。



編集後記

書店に行くと、ビジネス書のコーナーには「できる人の○○術」「うまくいく○○の法則」といった類の本が所狭しと並んでいます。その一方で、「癒し系」のコーナーには「心が楽になる・・・」「自分を好きになるための・・・」というタイトルの本が。あまりの多さに、圧倒されることもしばしばです。

私自身、両方のコーナーを良く覗くのですが、結局、「できる人になりたい！」との思いと「でも、疲れるなあ〜」との思いで揺れている人が多いのかもしれない。

最終的には、「自分らしい生き方」が問われているのでしょうか。これは、これから仕事へ向かって進む人、すでに働いている人、共通のテーマだと思います。(松井)